

長野県社保協ニュース <20-15>

2015年11月26日(木) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www.n-syaho.com>

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

新医療介護署名活動スタート 11/25 定例宣伝行動で新署名 26 名分集まる



消費税中止署名 24 名分、ポケットティッシュチラシ 225 ケ配布、参加者: 7 団体 15 名

松本地区の行動: 6 団体 8 名参加、署名 3 名分

長野県社保協は、11月25日(水)定例宣伝行動を実施しました。今月の宣伝行動は、中央社保協提起の新しい医療介護署名行動を中心に行いました。今回の行動では、通行人の反応がよく、新署名が 26 名分、消費税中止署名が 24 名分、合



わせて 50 名の方から署名を頂くことが出来ました。また、新医療介護署名に対応したチラシを挟み込んだポケットティッシュも 225 ケ分を配布することができました。参加者は、県労連、県医労連、高教組、県教組、高齢協、長野医療生協、県社保協の 7 団体 15 名でした。長野医療生協から参加した青年職員 2 名が初めてマイクの握り演説しました。

尚、同日松本駅前で行われた松本地区の宣伝署名行動には、松本地区の団体・労組 6 団体 8 名の方が参加しました。

誰もが安心できる

介護保険制度を考える県民集会 11/22 開催

自治体関係者、介護従事者、介護家族、市民ら 400 名参加。



長野県社保協も参加している「介護保険をよくする信州の会」は、去る 11 月 22 日安曇野市信州スイス村サンモリッツで「誰もが安心できる介護保険制度を考える県民集会」を開催しました。当日は、県や市町村の関係者、介護従事者、介護家族、市民ら 400 名が参加し、介護保険制度の改悪に反対し、誰もが安心できる介護保険制度のあり方を考える機会となりました。

集会では、長野県からの出前講座として県介護支援課油井係長から「新しい介護予防・日常生活支援総合事業への移行の進捗状況と課題」と題する報告を受け、基調講演として大阪社保協の日下部雅喜さんから「これからの社会保障と介護保険制度」と題する報告がありました。日下部さんからは、この間の介護保険改悪や介護報酬引き下げによって、介護現場では深刻な矛盾が広がり、利用者・介護家族から制度への不満や不安が広がっている。一日も早く介護報酬の再改定、制度改善が必要と強調されました。2つの講演のあと、会場から自治体・介護現場などから状況報告もあり、制度改善に向け決意を固めました。